



SSTK

さくら草だより

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会

〒332-0011 川口市元郷1-10-13

電話 048-225-1625

編集人 社会福祉法人さくら草

〒336-0015 さいたま市南区太田窪3501-2

電話 048-813-7426 Fax 048-886-6301

HP

<http://www.sakuraso.net/>E-mail sakuraso@www2.kiy.jp

ニヤリ・ホット大賞

-大切な誰かとお別れをするとき どうしますか?-

急に気温が上がった3月。彼に渡すメッセージ入りの色紙。得意な線を色とりどりに描いた。プレゼントの買い物も行った。激励シールも一緒に選んで買って、貼った。写真も撮った。あの時は12:30だったというのに、職員が急に車を停めて公園で写真を撮ろうと言った。お腹へってるよ。でも・・・『たのしかった。』

・・・ああ、今日は“さよなら会”的日だ。なのに、部屋に入りたくない…！「始まるよ。行こうよ。」と声を掛けられた。『だいじょうぶ。』・・・でも。『(うん。)』がんばって入った。タオルをかぶつていると、少し落ち着くんだ。〈旅立ちの日に〉をみんなで歌った。照れた。タオルが役に立つ。『暑いっ。』マイクを握った。がんばってしゃべった。そして、“さよなら会”は終わった。



さて、午後はゴミ捨ての仕事がある。彼と一緒にに行く最後の仕事だ。車の定員は5人。ピアノ前の集合場所に5つの椅子が並ぶ。発車時間まで座って待っている。いつもの通りきちんと座って待っている。(ん…！？)

(横入りだ！！) (うそだろ…！？) (それはないだろ——！！)
ケンカだ。・・・やってしまう。でも、気持ちが抑えられない。『なんでーー！！』(来た。職員が集まってきた…。離される。) ピアノが遠ざかる。

ソファーの縁に座る。(くやしい。本当はわかっている。) 汗が多量に出た。暑い。タオルを握りしめる。(くやしい。なんでこんなことになるんだ…！) 目が熱い。タオルで押さえる。けど、止まらない。涙が止まらない。ボロボロ出てくる。声を上げて泣いていた。あんなに泣いたのは初めてだ。そもそも、さくら草で泣いたことなんてない。タオルがとても濡れていた。みんなが注目している。彼も見ている。

～ふたり一緒に仕事に送り出しました。私たちは、立ち尽くしていました。別れがせまる時間の中で、どうにもならない気持ちがあります。送り出す彼の立場に立ってみんなで考えていました。私たちにできたことは少なかったです。でも、ふたりの想い出になつたらいいなあと思うばかりです。

(野島)



ようこそ☆ ディセンターさくら草♪



石川 麗奈さん (ふたば)



小境 真未さん (コスモス)



大野 辰弥さん (あんず)



稻垣 芳樹さん (くじら)

今年度は4名の方がさくら草に入所してくださいました。3月に特別支援学校を卒業したフレッシュなみなさんです!!

ディセンター・コスモスをあわせると73名の仲間となりました。多くの仲間と楽しい時間を共有し、ステキな毎日を過ごしていきたいです。

新入職員 紹介



~訓練を重ねるについて~

東日本大震災から丸2年が経ちました。さくら草でも大きな揺れを感じ、安全な所に避難をしました。無我夢中でみんなを担ぎ…。自分は冷静に行動できたのか、不安が残っています。

現在ディセンターでは年に2回の合同防災訓練のほかに、月に1回訓練の訓練を行っています。初めは、驚き泣き出してしまう人もいました。逃げ遅れる人もいました。しかし、訓練を重ねるについて1つ1つ改善しつつあり、こうした積み重ねがメンバー・職員ともに意識を高められると実感しています。
(小林)

4月からコスモス班の職員になりました天川阿津子です。専門学校在学中はボランティアとしてお世話になり、暖かく和やかな雰囲気の中で、利用者の方の生き生きとした笑顔が印象的でした。さくら草の一員として、色々な経験を通し利用者の方と日々成長ていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

「活動報告」 (2013年 1月 1日~2013年 3月 31日)

1月 9日 成人式	14日 経管栄養 胃ろう 半固体栄養剤の研修 (山宮)
10日 かっぽれ	19~22日 重度・重症児(者)医療・療育講習会(富田)
15, 16日 サービス管理責任者研修(近藤)	19, 20日 サービス管理責任者研修(関口)
2月 5日 さくら草特別支援学校見学	3月 5日 合同防災避難訓練
6, 7, 8日 大谷口中学校ミラクルワーク(8名)	5日 浦和特別支援学校見学
12日 柴田理事講演(施設内職員研修) 「意思決定支援について」	5, 6日 摂食指導講習会 (小林)
12日~3月1日 埼玉県立大学社会福祉士実習(2名)	14日 救命処置、AED講習
	27日 入所式

健康診断一年2回 ヘアカット(理・美容) 通院介助 体重測定一ヶ月 誕生会—各誕生日 音楽療法一ヶ月
アロマセラピー一ヶ月 みんなのアトリエ一ヶ月 静的弛緩誘導法訓練会参加一ヶ月 陶芸一ヶ月
家族会一ヶ月 さくら草せっけん教室一ヶ月



サポートさくら草



はじめまして

はじめまして。

今年の1月からサポートさくら草の職員になりました。

現在27歳、金神太郎（こん しんたろう）です



サポートさくら草で働く前は運送業でした。自ら配送したり、車両の運行管理をしていました。福祉の仕事は初めてです。家族が障がい者福祉の仕事をしており、関心を持ちました。

障がいのある方と関わるのは、サポートさくら草にきてからです。今までとは違う職種に就きたいと思い、入ってきました。実際に働きだすと、毎日がとても楽しく、しかも自分自身の勉強につながる仕事だと思いました。

現在サポートさくら草で、介護のほかに車両の管理も担当しています。サポートさくら草で先日、福祉車両の取扱い研修会を行いました。



《注意ポイントをみんなで話し合う》



《固定方法確認・声掛けも大事》

サポートさくら草には現在、7台の福祉車両があります。7台それぞれがスロープやリフトなど、違う形式の車いす固定方法です。そのため7種類それぞれ、違った固定方法を覚えることが必要です。万が一の事故の時、被害を最小限に抑えるために、しっかりとマスターしなくてはいけないことです。今回の講習を通じて、自分自身も安全に対する認識を新たにすることが出来ました。

講習会の中で、福祉車両の取扱いだけではなく、安全運転講習会も開いてほしいとの要望を受けました。車いすの方が乗車されている場合の運転の仕方、車いす乗降時における他車両、二輪車・自転車への注意ポイント。より一層の安全性向上、また相手方の過失・不注意による「もらい事故」も含めて、危険余地を積極的に行う運転方法を、サポートさくら草全体の共通認識にしていきたいと考えています。

今後、直接介護はもちろんですが、請求事務などにも係わらせてもらい、福祉制度を学んでいきたいと思います。若輩者ですが、今後ともご指導をよろしくお願ひいたします。（金神太郎）



前回の1月号にひき続きゆずの新しいヘルパーの紹介と利用者さんとの関わりをご紹介いたします。

- (1. 名前 2. 血液型 3. 趣味 4. マイブーム 5. 自慢話 6. ひとこと)



暑い日、寒い日も半そで姿が凛々しい今井龍士さん。
大宮第二、第三公園を散策。落ち葉を見つけると手でパラパラ遊び、同行した栗原にも一緒に遊ぼうと誘いに来ます。
私たちの手を引き、いろいろな場所を案内してくれます。

1. 栗原 弘子 2. A型
3. ケーキ作り
4. 毎朝土鍋でごはんを炊き
その蒸氣で顔に水分補給！
5. 洗濯機は22年、自転車は14年間、
美容院は35年間、同じ物、同じ場所
に通っています。これって自慢？
6. 利用者さんの必要を知り、
寄り添う者でありたいと
願っています。いろいろな
事を教えて下さい。よろし
くお願ひします

1. 清水 百合子 2. O型
3. テニス
4. ナビで検索！
(でもその通りにならない)
5. 毎日仕事のテニスに元気だなあ
と思っています。
6. 毎回いろいろ違うのでハラハラ
ドキドキ、だけど楽しいです。



デイセイ-さくら草に通う
川島貴志さん。とにかく
体を動かすことが大好き。
休日はゆずを利用し、散
歩三昧。私たちの目をしつ
かりと見て最高の笑顔を見
せてくれます。
暑くなるとプールでのウォ
ーキングも始まりますので
私たちが若々しくいられ
るのは、貴志さんのお陰
かな？！と日々若いパワー
に負けないよう、体力維
持は欠かせません！

南区障害者生活支援センターあみ～ご



4月よりあみ～ごに新たにスタッフが1名加わりました。

以前からのスタッフとともに紹介させていただきます。

新体制のあみ～ごをよろしくお願ひします＼(^o^)／



- ①名前 ②チャームポイント
- ③今年の目標 ④相談員としてのモットー



- ① 宮嶋 咲月
- ② スマイル
- ③ 心に余裕を
- ④ 受け止めます。

＜ひと言＞ よろしくお願ひします！



- ① 江端 みよ志 (副所長)
- ② 活気にあふれた大きな話し声。
- ③ 瘦せる！！
- ④ とにかく耳を傾ける。

- ① 高橋 美香子
- ② 肩の関節を外せる。
- ③ なるべく間食しないようにする。
- ④ 一緒に悩んだり、考えたりする姿勢を大切にしたい。

- ① 加藤 雅美
- ② メモの字が小杉さんより汚い。
- ③ けがをしないようにする。
- ④ 安心感を与えられる相談員になりたい。
笑顔を引き出したい。



- ① 小杉 理
- ② メモの字が汚い。
- ③ 腹筋を割る。
- ④ 相談者の希望に配慮しながら、ベストなアドバイスができるよう心掛ける。

★お知らせ★

平成25年4月1日より、あみ～ごの相談受付時間が平日の9:00～17:00に変更になりました。

困っていること・分からることなどがありましたら、いつでもご連絡ください。

電話：048-866-5098 FAX：048-866-5128

給食よりアロマの時間

～母親の思い 個人支援計画面談で～

昼の給食を、やめようかしら？

一度むせ始めると出しきるまで全身に力が入りきつそうなんです。車いすに座れなくなるくらい緊張するから、午後の時間が疲れ切って終わってしまう。

それより、食事は注入にして、アロマ（電飾と静かな曲で癒しの時間）など楽しい活動をして過ごさせた方が良いのではないかと思っています。今はまだ気管からむせて出す体力がある。（誤嚥性肺炎で）熱を出すこともない。でも注入にしようか迷っているの。

家では、本人のタイミングを見ながら飲ませればむせも少ないし、むせたときにお茶を飲ませるとごろごろしている痰が出て、その後の食事も楽になるの。でも誰もがそのようにできる訳ではないし。

このあいだ運転中に沢山の痰を吐き出して、呼吸するたびに口から出たり入ったりして窒息するんじゃないかなと怖かった。顔を真っ赤にしてこんこんとしているけど信号前で停められなくてハラハラした。幸い飲み込んでくれたから助かった。初めてのことでの生きた心地がしなかった。

給食を摂れば痰が出やすくなる。〇〇の事をよく知らない職員が送迎のときに痰がでるかもしれないし心配だ。

朝晩は自宅でしっかり食べられているから昼は注入にしようかしら。

ひとしきり個人支援計画について説明を受け、その通りでと言わされた後での悩みごとでした。

調子が良ければ、家族であれば経口摂取もできる状態だが、医師や理学療法士など専門家でも判断が分かれる。胃ろうにするという決断は重いことだ。さらに経口摂取か注入かの選択だ。

上手に食べさせられる介助者は、直ぐには育たない。その人の食べ方、タイミング、飲み込むくせやむせるときの条件と対応。例えば出し切るまで待たず、直ぐに水分をとらせ、すっきりさせるなど一人ひとり微妙に異なる。

障がいの重い方が地域で暮らすには、親以外に介助できる人を増やすことが不可欠だ。そのために人にゆだねることが大事。とはいえる支援者全てが、本人が快適に食事ができるようにその人の介助のコツを会得できる訳ではない。知識を入れても技術が伴わないこともある。それでも障がいの重い方が、それなりの介助に合わせる適応能力を見せてくれることに救われる。

口から食べさせたいという親心と葛藤しながら「安全性」と「楽しく活動」をすることを選んだその思いに感じ入った。母親に力不足を詫びつつ、やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、…とはいうものの生理学的に繊細かつ専門性が高い介助における人材育成の難しさを思った。（山本）

編集後記

手紙：「わたしは、運動会がやりたい。」そうだよね。明花公園借りてみんなでやるぞTHE運動会！（みんな）=あなた！やるとなったら結構、たのしみ。☆5月15日（22日）応援よろしくお願いします。広報 第23号（N）